




体験者	原本 佳歩	期間	2019年2月3日～2019年2月28日			
受入れ先	光語学スクール	部署	Hikari international school 1・2	担当者	Srey leak・青木貴之	
テーマ	『書道を通しての日本語教育』及び『英語教育』					
日付	体験日誌		日付	体験日誌		
2 3	日曜日 夕方、プノンベン空港に到着しました。学校も休日だったため、ゲストハウスに直行し、就寝しました。		2 8	金曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語の授業では、教科書の内容に少し触れた後、フリートークに挑戦しました。二人一組になって、お互いが自由な内容について、質疑応答するというものです。まだ知っている単語数が少ない学生達にとって、少しレベルの高い挑戦でしたが、知っている単語を並べたり、友達に聞いたりしながらなんとかフリートークを楽しみました。日本語の授業では、文法を勉強しました。日本語とクメール語では文法が異なるため先生の手助けをしながら学生に文法を教えました。		
2 4	月曜日 午前から昼過ぎにかけて光学校1に出勤し、スタッフのみなさんにあいさつをしました。その後、一ヶ月の予定について責任者である青木さんと打ち合わせをしました。午後は、光学校2に出勤し、新しい先生と初めてお会いし、既存のスタッフともあいさつを交わしました。 学生の入替わりの状況や、人数、授業内容を軽く把握し、次の日からの授業にむけて準備をしました。		2 9	土曜日 カンボジアに来て、初めての休日でした。 近所を散策したり、来週の授業で使うプレゼンテーションを作成したりして、有意義な時間を過ごしました。 夜ごはんはスタッフが手料理を振舞ってくれると言ってくれたので、お家にお邪魔して、ご飯をごちそうになりました。スタッフの手料理は全て本当においしいです。		
2 5	火曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語の授業では、お互いの自己紹介をしました。昨年、自己紹介が全く出来なかった学生達が長文の英語で一生懸命、自分自身の紹介をしていて感動しました。私の自己紹介にも必死に耳を傾け、聞き取ろうとしてくれました。日本語のクラスでは文法をしました。が、日本の文法はカンボジア語とは異なるため、先生の手助けをしました。 新しいオラコ先生の提案で、学生のいない時間を利用し、先生たち対象の日本語クラスを開くことになりました。		2 10	日曜日 スタッフの一人がもうすぐで誕生日だということで、別のスタッフと誕生日プレゼントを探しに行きました。 そのついでに、セントラルマーケットなどにも案内してもらいました。 四日後には、バレンタインがひかえているので、学生達に気持ちばかりお菓子を買ひ、プレゼントの準備をしました。 夕方、ゲストハウスに戻ってからは、習字のお手本書きをしました。		
2 6	水曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語の授業では、新しい単語として、色や国名について学びました。 日本語のクラスでは、書道教室を開くにあたり、これまで学習した単語の総復習をし、好きな(書きたい)単語を選んでももらいました。 先生たち対象の日本語授業では、先生方の希望で簡単な日常会話を勉強しました。日本語が全くできない先生も語学を教えているだけあって、習得がはやいように感じました。					
2 7	木曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語の授業では、前日新しく習った単語の色や国名を、ゲームを用い、インプットしました。普段、座学ばかりしていると聞いたので、体と頭を使うゲームを持ちかけてみました。学生達の反応はとてもよく、楽しく・効率的に単語を覚える事ができたように思います。日本語の授業では、新しい単語と習字をする前の基礎的、な書き方(はね・はらいなど)を勉強しました。					
受け入れ先からのコメント	Because of Kaho, all students are much motivated to take a class and thay are glad to see her again after while. 原本さんのおかげで、多くの学生が授業をいつもに増して、積極的に受けていました。そして久しぶりに再会できてうれしそうでした。					
一週間の感想と今後の目標	昨年に比べ、学生のレベルや、授業の内容がとてもレベルアップしていました。たくさん英語が身についてきた学生がいる一方で、新しい生徒や、勉強が得意でない生徒がつまらない顔をしている場面があることも事実です。授業時間が長い分、やはり座学だけの授業では集中できる時間に限界があります。授業内容を理解していない生徒にとっては苦痛な時間となってしまうことに問題を感じました。 次の週の課題として、上記のような問題点を解決するため、座学以外に、アクティブで体を動かしながら英語を学べるような、ゲームを準備したいと思います。					
						

日付	体験日誌	日付			
2 11	月曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語のクラスでは、先週学んだ国名について、プレゼンを行いました。国名をただ暗記するだけでなく、その国がどのような国なのか知って、自分の行きたい国を見つけてもらうのが今日のプレゼンの目的でした。それぞれの国の、特徴・風習・文化・食べ物などについて説明した後、どこに一番行きたいか聞くと、イギリス・タイ・日本などが人気でした。日本語のクラスでは書道教室をしました。一発目からびっくりするくらい上手に書けました。	2 16	土曜日 カンボジアに来て二度目の休日でした。前回訪れた際に、光学校1と一緒に授業を受け持っていたスタッフが、日本へ働きに行くということで、最後に一緒にごはんを食べました。夕方にはゲストハウスに戻り、授業で使う資料を準備し、就寝しました。		
2 12	火曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語のクラスでは、普段担当していない小さい子向けのクラスに初めて参加しました。人数が多く年齢も低い分、先生は大変かなと思っていましたが、案外みんな席について大きな声を出し先生の英語の真似をしていました。来年、再来年がとても楽しみです。日本語のクラスは学生が休みだったため、英語のクラスで使う単語カード作成の時間に充てました。	2 17	日曜日 今日はゲストハウスのオーナーのおばさんと、その娘さん達(娘さんは光学校2の学生)がプノンペン観光に連れて行ってくれると言ってくれたので、お言葉に甘え、一緒にお出かけしました。リバーサイドにある、サンセットクルーズに連れて行ってくれました。カンボジアに来て、このようなアクティビティーは初めて体験したので、とても楽しかったです。その後、ナイトマーケットなどにも案内してもらいました。学生達が日本語でたくさんコミュニケーションを図ろうとしてくれ、授業で習った内容が活かされているなと感じました。		
2 13	水曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語のクラスでは、授業の前半を使い、教科書の内容をみっちり勉強した後、授業の後半で、同じ内容をゲームを用いた別の方法で学びなおしました。反復学習はとても重要なので、しばらくこの方法で授業を進めていこうと思います。				
2 14	木曜日 今日はバレンタインデーだったため、午前中の授業時間を使い、小さなパーティーを行いました。みんなでゲームをした後、用意していたチョコレートを渡しました。何人かの生徒からはバラやプレゼントをいただき、本当にうれしかったです。 午後は通常通り、授業を行いました。日本語のクラスでは習字の清書を書きました。練習の時と変わらず上手に書くことができました。				
2 15	金曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語のクラスでは、新しい教科書の内容と、今まで習ってきた単語のスペルのおさらいをしました。多くの学生は口頭で単語を言うことができますが、いざスペルを書こうとすると、間違っていることが多々あります。スペルが書けないと文字も読めないため、厳しくノートをチェックします。				
受入れ先 担当者の コメント	All students enjoy her class. She prepares a lot of things to help their study. Students who are in Japanese class could experience of Japanese culture through Calligraphy and have gotten good memory with native Japanese teacher. 原本さんは授業の手助けになるたくさんのこと(ゲームや資料)を準備してくれ、学生はそれを楽しんでいます。日本語クラスの学生も書道体験を通して、日本文化にふれることができ、ネイティブ日本人と思い出を作りました。				
1週間の 感想と 今後の目標	この一週間で、生徒との距離がぐっと近くなりました。授業中で分からない問題に出くわしたとき、遠慮せずに質問してくれたり、休憩時間に学生の方から近づいてきてくれたりします。以前は、英語をしゃべることが恥ずかしくて、なかなか私に話しかけなかった学生達も今では、休憩時間になると手をつないできて、お菓子の紹介などをしてくれるようになりました。語学は、日常生活の中で磨かれていくものなので、彼らにとって外国人である私の存在が、語学学習の手助けになっていると幸いです。日本語クラスで開催した書道教室も、日本文化が大好きな学生だったのですぐ親しんでくれ、作品自体もとても良いものが完成しました。来週は、光学校1の方でも書道教室を開催するので、しっかり準備していきたいです。				

日付	体験日誌	日付	体験日誌
2 18	月曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語の授業では、いつも通り、授業の前半で教科書の内容を勉強し、後半でゲームを使い同じ内容の反復学習をしました。日本語クラスでは、いつも文法や、新しい単語の勉強で少し大変そうに見えたので、会話に重点を置き、授業を進めました。	2 25	月曜日 午前は、ずっと楽しみにしていた、光1のダンサーの先生によるダンスクラスでした。学生達はこの日をとても楽しみにしていたので、終始大興奮で、一生懸命先生のダンスについていっていました。ワンツー スリーと自然と口ずさみながら、ダンスだけでなく、英語の学習にもなったかと思います。午後の生徒は、通常通り授業を行ったので、また別の日に先生に来てもらい同様にダンスクラスを実施してもらう予定です。
2 19	火曜日 祝日 本日は、カンボジアの祝日だったため、スタッフの実家がある別の州までみんなで出かけました。首都のプノンペンには、空気がかなり汚染されている印象ですが、田舎の方はとても空気が澄んでいて気持ちよかったです。また、日本で生活していた時には見た事がないような、自給自足の生活にとっても興味を持ちました。いつも色々なことを自然と体験させて下さるスタッフの皆様には感謝でいっぱいです。	2 26	火曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 午前の英語クラスでは、他の先生の都合で、いつも受け持っていないクラスを担当させていただきました。いつもは、私と英語の話せる先生一人の二人体制で授業を行うことが多かったため、私一人の授業は、クメール語が話せない分、大変でした。しかし、学生達も理解する努力をしてくれたため、順調に文章問題などを解くことができました。午後は、日本人ダンサーの先生にダンス教室を実施して頂きました。
2 20	水曜日 午前中は、光学校1で活動していました。光1では別の日本人の先生が普段から日本文化についての授業を行っているとのことでしたので、書道教室だけを開かせていただきました。最初は書き方に苦戦したものの、練習するにつれ、すぐに上手になっていきました。はねやはらいの概念は、おそらく、日本語や中国語以外になかなか無いものだと思うので、説明することがとても難しかったです。書道の面白さは、同じ手本を真似して書いても、その人の性格や考えていることが文字に反映される部分です。そういった意味で学生達は、自分で決めた課題の文字に合った、書体で作品を仕上げていて面白かったです。	2 27	水曜日 カンボジアでの滞在は28日までですが、早朝の便で日本に帰るため、今日が実質、学校で過ごす最終日でした。通常の授業をした後、学生達がサプライズでケーキを渡してくれ、他にも様々なものをプレゼントしてくれました。また、最近覚えた単語を頑張って使い、メッセージをくれた学生もいました。私が与えたことより、学生から得るものがはるかに多い一ヶ月の滞在となりました。この一ヶ月で感じた、学生への感謝の気持ちを、一生忘れず、これからもカンボジアの教育発展に貢献していくことを心に誓いました。
2 21	木曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 英語クラスでは、いつも通り、教科書の内容とその反復学習として、ゲームを用いた方法で勉強しました。最近では、学生の方から、今日はこんなゲームがしたい！と意見してくれるようになり、とても嬉しく感じています。日本語のクラスでは、以前書いた書道の作品を額縁に入れ、学生に渡しました。		
2 22	金曜日 ①8時～11時 英語クラス(午前の部) ②11時～12時 日本語クラス ③13時～16時 英語クラス(午後の部) ④16時～17時 先生対象の日本語クラス ⑤17時～18時 日本語クラス 授業はいつもと変わらず、行いました。休憩時間には、先生たちとダンスクラスについての打ち合わせをしました。数日後に、光学校1から日本人のダンスの先生が光2の学生達にダンスクラスを実施して下さるとのことです。学生たちにも、カンボジアで流行っているダンスソングを教えてもらったので、その曲を使ったダンスを作ってもらう予定です。		
2 23	土曜日 早くもカンボジアで過ごす最後の週末になりました。今日は、光学校1のダンスの先生が、カンボジアで行われるダンスバトルのコンテストに参加することでしたので、他のスタッフと応援しに行きました。世界的な大会で、審査員や出場者含め、世界各国から有名なダンサーが集まっていました。しかし、オーディエンスは少し少なかったので、カンボジアでダンスはまだあまり認知されていないものなのかなとも思いました。来週はこの先生が光2でダンスクラスを開催してくれるので、とても楽しみです。		
2 24	日曜日 今日は、カンボジア日本人材開発センター(CJCC)が行っている、Japanese festival に日本語クラスの学生と一緒にに行ってきました。誘ってくれた学生は日本文化に大変関心があり、とても楽しんでいました。日本に興味のあるカンボジア人たちが集まり、日本文化体験として、様々な日本のアニメ・着物などのコスチュームを身にまとった、ファッションショーが開催されていました。他にも、日本食の屋台がたくさんでており、店員さんは9割カンボジア人でしたが、味はほとんど日本と同じものでした。カンボジアでは、たこ焼き・たい焼き・わたがしなどが人気のようです。		



Hikari international school

インターンシップを体験して

体験先：Hikari international school 1・Hikari international school 2

体験内容：『書道を通しての日本語教育』及び『英語教育』

体験期間：2019年2月3日 ～ 2019年2月28日

体験者名：原本佳歩

<体験感想>

私は昨年も光学校でインターンシップを行ったため、今回は二回目となる訪問でした。

今回の訪問の一番の目的は、『書道を通しての日本語教育』でしたが、日本語クラスの生徒数や、授業時間の関係により、日本語クラスよりも英語クラスに多く参加させていただくこととなりました。

インターンシップの初日、この一年間で学生が非常に成長したことを身をもって感じ、とても感動しました。特に、英語の授業に関しては、一年前では想像がつかないほど、積極的に英語を使おうと挑戦する学生達の様子が伺えました。圧倒的な学生たちの、英語レベルの向上に伴い、準備していた授業内容や、英語でのゲームではレベルが合わないと判断しました。そのため、現地で試行錯誤しながら、学生たちの学習レベルに合うものを用意し、実践しました。今までとは違う授業スタイルや、ゲームに学生たちはとても興味を示してくれ、私が一方的に授業を行うのではなく、クラス全員で勉強を楽しめたように感じています。

前回訪れた際は、“授業にクラス全員を巻き込む”という点で苦戦したため、その反省点を生かし、危惧していた“一方的な授業”を回避できたように感じます。

日本語のクラスでは予定通り、書道教室を開催しました。書道体験の前に、日本文化についての授業をあらかじめ行い、書道への興味を自然と引き出すよう意識しました。学生たちにとっては、初めての書道体験でしたが、それぞれの人間性や、個性を表現する素晴らしい作品が完成しました。この体験を機に、日本に更に興味を持ち、日本語の勉強にもより一層力が入ればいいなと願っています。

全体の活動を通し、スタッフや学生から得るものが非常に多い1ヶ月でした。これからも、微力ではありますが、カンボジアの教育の発展に貢献し、関わってくださった皆様に恩返しできるように努めて参ります。

最後に、このような素晴らしい機会を与えてくださった、国立国際交流奨学財団の皆様、本当にありがとうございました。

受入れ担当者：青木貴之 2019年3月1日

<コメント>

原本さんは、2回目の訪問ということもあり、日本語・英語の出来ないスタッフとも上手くコミュニケーションをとり、日々頑張っておりました。

書道で日本文化体験クラスを開いてもらい、書道の基本から日本語学習者に教え、最終的には学生が自分の好きな言葉を自分らしく書くという課題でしたが、カンボジア人学生の作品は、本当に言葉の意味を文字で表現できていると感じ、素晴らしい出来栄だと感じました。